

# ときめき人

Tokimeki bito

## 未来の子どもたちにふるさとを残したい



「米谷のみらい」の皆さん。左から、長岡美穂子さん、猪股理沙さん、菅野忍さん(代表)、大山敏幸さん、嶋村一步さん、飯塚直美さん

米谷のみらい  
Instagram

「何もない場所と言われがちだけれど、普段何気なく見る風景、住んでいる人の優しさや笑顔。ここには都会では得難い大事なものがたくさんあります」と話す「米谷のみらい」代表の菅野忍さん。時代の流れとともに活気が失われていくふるさとを元気にしたいと、東和町に住む30~40歳代の若手が集まった。地域資源である空き家の利活用について考える企画や、地域の歴史を学ぶ勉強会、地域のみんなでつくり上げるさくら祭の開催などを通じて、人と人との関わりを大切に活動を展開している。

仕事やプライベートを犠牲にしながら地域のために尽力する先輩たちの姿を見てきたメンバー。活動を長く続けていくためには、「無理せず自分た

ちのできる範囲で]行うことが重要と考え、できる人ができることをやる。力み過ぎずほどよく肩の力を抜くことを心掛けている。「地域のために頑張ってるね」「楽しいお祭またやってね。ありがとう」という住民の皆さんの声は何よりうれしいと笑顔を見せる菅野さん。

「行政だけに頼るのではなく、自分たちが住みたい町を自分たちの手でつくっていききたい。この地域に住む幸せを未来につないでいきたい」と始めた活動は5年目を迎えた。地域に残る自然や文化を見つめ直し、地域のみんなが大切に紡いできたふるさとを未来の子どもたちに残すため、「米谷のみらい」は、日々試行錯誤を繰り返しながら活動を続ける。

### 編集後記

▼広報係になって約1年。正しい情報や人の思いを伝えることの難しさに悩んだり、広報読んでよって言ってもらって舞い上がるほどうれしかったり、いろんな感情に振り回された1年の節目に一句。夕方になると小さい字が見えず認めたくないけど老眼だ(渡邊)

▼取材でお会いした「米谷のみらい」代表の菅野さん。笑顔で話す一言一言から地域を思う気持ちが伝わってきました。一緒に活動してくれる仲間を随時募集中とのことでした。(佐々木)

▼楽しそうに揺れているカラフルなランドセル。朝の通勤時に出会う穏やかな日常です。今号の特集で改めて多くの市民の皆さんによって守られていると感じました。以前ドラマの撮影で市内に滞在していたNHKスタッフが、譲り合い運転などマナーが良い事に大変驚いていました。東京では考えられないとのこと。登米市の誇れる点がまた一つ増えました。(千葉)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

